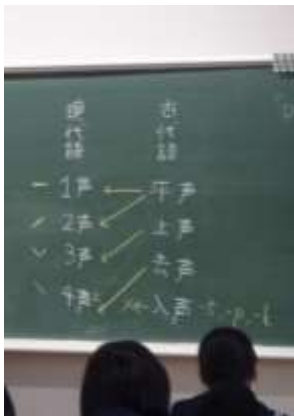


香川大学教育学部からの出前講座⑧（3年） を実施しました

11月6日、香川大学教育学部から古橋紀宏先生をお招きし、「近体詩の規則」という題で、教育創造コースの3年生にご講義いただきました。

<p>（九月）九日、たまたま詩を詠む</p> <p>赴任中（この讃岐の地で）三度菊の花が咲くのを見た （宮中での宴に参加しなくても）重陽だけは毎年やって来る 今日うなだれて昔の日々を思うと 紫宸殿で（帝から）恩盃を頂いたのであった</p>	<p>紫 宸 殿 下 賜 恩 盃</p> <p>今 日 低 頭 思 昔 日</p> <p>只 有 重 陽 每 度 来</p> <p>客 中 三 見 菊 花 開</p> <p>九 日 偶 吟 菅原道真</p>
---	---

菅原道真が讃岐の地に赴任している時に詠んだ七言絶句を題材に、近体詩について学習しました。高校では詩の形式や押韻について学習しますが、大学ではそれに加えて声調や平仄について学習するようです。



一足早く大学生気分を味わうことができました。
漢詩を読んで、改めて菅原道真と香川県の縁を感じ
取ることができました。

古橋先生、ありがとうございました。